

平成27年度 学校経営

1 千葉特別支援学校の教育の基本

本校の校歌に織りなす、ここ大日の地に培い伸ばしゆく「知恵の輪・夢の輪」、いそしみ広げゆく「友の輪・愛の輪」の心が本校教育の礎である。これまでに培われてきた校風を大切に、教師自ら研修に努め、一人一人の児童生徒の適切な教育環境を整え、学校・家庭・地域の連携を密にし、地域社会の中でよりよく生きられるよう、心身ともに調和のとれた、たくましく主体的に生きる、心豊かな児童生徒を育成する。

2 教育目標

○たくましく主体的に生きる、こころ豊かな児童生徒の育成

3 めざす学校像

○児童生徒一人一人が、主体的に活動し、学ぶ楽しさを知り、豊かな心と健やかな体をはぐくむ、活力に満ちた学校

4 めざす児童生徒像

- (1) 自分からすすんでとりくむ子
- (2) こころやさしい子
- (3) あかるく元気に活動する子

5 めざす教師像

- (1) 子どもと共に活動し、子どもの思いに寄り添うことができる人
- (2) 子どもの良さを見つけて、生かす人
- (3) 授業づくりをとおして学ぶ人

6 経営方針

(1) 基本方針

学校教育目標を達成するために、全校職員の英知を結集し、教職員が共同経営者としての意識をもち、児童生徒及び保護者と協力して、明るく楽しい、子どものための学校づくりに努める。

(2) 経営の重点と具体的方策

- ①全教職員が役割を認識し、相互に信頼し合い、その教育力を発揮し、明るく楽しい学校づくりを目指す。
 - ・教育目標を踏まえた各部、各分掌の目標の設定
 - ・全教職員の学校課題への共通認識と自己役割の明確化
- ②児童生徒一人一人の良さと課題の理解に努め、自立を目指した教育を推進する。
 - ・個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づいた適切な指導と評価の実施、PDCAのサイクルを機能させた指導の充実
 - ・週指導計画の活用による指導の充実
- ③キャリア教育および進路指導等を充実し、卒業後の就労先や通所施設等の確保に努める。
 - ・できるだけ多くの教職員が取り組む進路開拓
 - ・進路指導主事を中心とした、進路指導の充実
- ④質の高い授業を目指して、各学部の教育課程と教育内容の改善を図り、子どもたちの学校生活を充実させる。
 - ・授業研究会の公開と協議会の充実
 - ・現職研修の内容及び研修システムの検討と充実
- ⑤交流及び共同学習を推進する。
 - ・千葉県教育委員会研究指定事業を受け、「交流及び共同学習」、特に居住地校交流の調査研究
 - ・学校間交流の内容の工夫・改善
- ⑥児童生徒が健康で安全に生活できる教育環境の整備と充実に努める。
 - ・震災に対する防災備蓄品の見直し
 - ・一人一人に合った備蓄品の整備
- ⑦地域の関係諸機関との連携を密にし、開かれた学校づくりを推進する。
 - ・開かれた学校づくり委員会との連携と協同
- ⑧センター的機能充実のため、教育相談・地域支援・公開研究会・情報提供等の活動を行う。